

甘い抱擁 (1968)

THE KILLING OF SISTER GEORGE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

時間 138分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

テーマだけでなく描写においてもかなり妥協のない、アルドリッチがレズビアン愛を扱った問題作。彼は同年にやはり「何がジェーンに起ったか？」系列の「女の香り」という相当病的な女性映画をものにしてている。初老の女優ジョージ（リード）は、TVの人気長寿ドラマの主要キャラクターを演じてきたが、番組を降ろされる噂がチラホラ立って神経質になり、自ら墓穴を掘るように酒に溺れては失態を繰り返す。同棲している愛人のアリス（ヨーク）はまだ小娘の時分から彼女に厄介になっていて、人を偏愛する、幼児性の抜けきらない女。ジョージの抑圧を嫌っているが、そこから逃れる勇気もない。歪つな関係の中で、アリスをののしりながらも最後にはすがっていたジョージだが、いよいよ、局の女性重役クロフトに降板を告げられ、おまけにアリスも彼女に奪われて、精神的に完全に壊れてしまう。野卑な言葉を感情の赴くままに吐くジョージは、ドラマ中で演じる、物わかりのいいおばさんとは好対照の激烈な人物。それをまたリードが、何かに憑かれたかのような演技で圧倒的にみせる。対するヨークも、彼女にしては難役だが繊細な芝居でうけて立ち、二人のからみは見応え充分。ただ、クロフトの描き込み方が足りず、役者（C・ブラウン）も平凡。面白いのは、舞台がイギリスで、TV界の裏面を描くと言っても、全く華やかでないこと。制作現場もお茶の間の延長上という感じで、アメリカ内のバック・ステージものにあるスターダムへの固執とは違う、猥少さが作品の冷え冷えとした雰囲気をもよおし、実感がこもった。

【クレジット】

監督	ロバート・アルドリッチ	Robert Aldrich	
製作	ロバート・アルドリッチ	Robert Aldrich	
原作	フランク・マーカス	Frank Marcus	
脚本	ルーカス・ヘラー	Lukas Heller	
撮影	ジョセフ・バイロック	Joseph Biroc	
編集	マイケル・ルチアーノ	Michael Luciano	
音楽	ジェラルド・フリード	Gerald Fried	
出演	ベリル・リード	Beryl Reid	ジューン・バックリッジ
	スザンナ・ヨーク	Susannah York	アリス・マクノート
	コーラル・ブラウン	Coral Browne	マーシー・クロフト
	ロナルド・フレイザー	Ronald Fraser	レオ・ロックハート
	パトリア・メディナ	Patricia Medina	ベティ・ザクスター
	シリル・デレヴァンティ	Cyril Delevanti	テッド・ベイカー
	ヒュー・パディック	Hugh Paddick	フレディ